

事業評価書

補助事業名	三沢飛行場等関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：三沢市小中学校司書配置事業）			
補助事業者名	三沢市長 小檜山 吉紀			
実施場所	三沢市古間木1丁目152番地139号 外			
補助事業の 成果の目標	<p>学校図書館には、読書活動に加え、様々な学習・指導場面での利活用を通じて、児童生徒の言語能力、情報活用能力、問題解決能力、批判的吟味力等の育成を支え、主体的・対話的で深い学びを効果的に進める基盤としての役割がある。</p> <p>平成26年6月の学校図書館法の改正により、学校には学校司書を配置するよう努めることとされ、一定人数を配置しているが、各小中学校に配置するための人件費は市費を経常的に圧迫している。</p> <p>以上のことから、学校司書の人件費に9条交付金を充当することで、圧迫している市の財政を軽減することができ、恒常的に学校図書館の運営の改善・向上と児童生徒及び教職員の学校図書館の利用の一層の促進に寄与することが期待される。</p>			
補助事業の内容	三沢市小中学校司書配置			
補助事業の 始期及び終期	令和6年度			
事業費及び交付金額		令和6年度		計
	事業費	円 8,756,828		円 8,756,828
	交付金額	4,400,000		4,400,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>【成果】学校司書5名を確保できたことで、学校司書が2.4校に1人配置され、学校図書館における基盤の強化に繋がった。また、年間1人当たりの貸出数は、小学生は26.7冊、中学生は3冊で、前年度より増えている。</p> <p>【評価】司書教諭と学校司書が連携し、授業での学校図書館利用が年間計画の中で位置づけられ活用されることで、基盤の強い学校図書館を構築することができた。図書を紹介や図書館だよりの作成、居場所としての図書館活用など、学校司書の配置による評価は高い。また、学校司書と教育委員会との人事評価面談においても、学校司書が掲げる目標が十分に達成したことが評価として挙げられた。</p> <p>【周知の実施状況】ウェブサイトや支援員の研修資料などで調整交付金事業である旨を掲載した。</p>			
事業の改善措置及び 今後の対応	今後も学校図書館の運営向上を維持し、適正な学校司書配置を実施する。			
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無			